

新堀小学校[第6学年]にいぼりッチタイム 年間指導計画

1 単元名 「新堀小 全力オリンピック～めざせ金メダル～」(18時間扱い)

2 単元の見聞

オリンピック選手等の食生活について調べる活動を通して、食とスポーツについての知識と理解を深め、学んだことを身近な人に伝えたり、自らの生活に生かそうとしたりする。

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
アスリートの選手の食生活にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、食生活の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	アスリートの選手の食生活の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	アスリートの選手の食生活についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができている。

過程	○主な学習内容 ※東京2020教育プログラム『よい、ドン!』を活用	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 4時間	○課題の見つけ方 ①自分の知っているアスリート(オリンピック・パラリンピック)の話を出し意見交流する。 ②アスリートがどんな食生活を送っているのかを話し合う。 ③種目ごとに食生活について考える。(1時間) ④課題決定とグループ作り(1時間)	・話題に出そうなアスリートの映像資料などを用意し、児童が興味をもてるようにする。 ・また、オリパラに限らず、多くのスポーツの国際大会も行われていることにも触れるようにする。サッカーの久保選手、バスケットボールの八村選手、陸上のサニブラウン選手、野球の大谷選手など) ・埼玉県出身の選手にも注目するようにする。 ・調べたい競技や選手を考えるようにする。	「情報活用の仕方」→ 「オリンピックの精神」→ 「学力金メダル」→ 「体力金メダル」→ 「ラグビーポスター」← 「国や郷土を愛する」→	【新聞記事】(年間) 【道徳】「人生を変えるのは自分(秦由加子)」(4月) 【国語】【算数】学力オリンピック(4月) ○全国学力・学習状況調査問題 ○埼玉県学力・学習状況調査問題 【体育】「新体カテスト」 【図工】「ラグビーポスター(6月)」 【道徳】「祖国にオリンピックを(和田勇)」(10月) 【外国語】「世界の様々な言語とあいさつ」(4月)
情報の収集 5時間	○情報活用の仕方 ○多様性の尊重・共生 ⑤調べる分担や発表方法について話し合う。(1時間) ⑥ラグビー・オリパラノートを作り、インターネットや書籍などを活用して調べる。(3時間)	・調べたことが、どこの情報か、いつの情報かを明らかにして記録できるようにする。 ・図書室の本には数に限りがあるため、市報、広報誌など家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。また、インターネットから情報を得るようにする。 ★知識やその探求技能を身に付けることができている。【知識および技能】(記録ノート)	「調べ考えや意見をまとめる活動」→ 「自分の考えを伝え合う」→	【国語】「考えや意見をノートにまとめよう」(11月) 【外国語】 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック競技名や国名の言い方、観たい競技
整理・分析 6時間	○情報整理の仕方 ⑦調べたことを大切なことの順に整理する。(1時間) ○自分の考えの表し方 記事や発表物についての自分の考えを整理する。(1時間) ⑧調べたことをまとめていく。(4時間)	・見る人にどのようなはたらきかけを行う資料を作るのかを明らかにさせることで、みる人の興味をひく発表資料をつくることのできるようになる。 ・文字を減らし、グラフや写真など、視覚にうったえる見やすい資料づくりができるようになる。 ★情報を収集し、整理分析することができる【思考力・判断力・表現力】(記録ノート・発表資料)	「自分の考えの表し方」→ 「調べ考えや意見をまとめる活動」→	【国語】「すじみちを立てて発表しよう」中心点をはっきりさせ、理由を添えて紹介する(6月) 【国語】「学校案内パンフレットをつくろう」目的に応じて割り付けを工夫する。(5月)
まとめ・表現 ひろめる3時間	○効果的な伝え方 ⑨学級・学年間で、発表を見合う。(2時間) ⑩体験や発表等を通して、考えたことをまとめる。(1時間)	・全力オリンピック発表カードに発表を聞いてあるいは発表しての感想を記入する。 ・競技種目によって、食事のとり方や内容が異なることが感じ取れるようにする。 ・発表を通して、どんなことが考えられたか。今後の生活に生かせることはないか。	「発表の仕方」→ 「考えをまとめる活動」→	【国語】「言葉や写真を引用して話す」(4月) 【社会】「新しい日本平和な日本へ」(11月) 東京オリンピック(昭和39年) 国民の努力で平和になった日本

1 単元名 「ラグビー・オリパラブームをおこそう！ I ～海の自然を伝えよう～」(10時間扱い)

2 単元の目標

海の自然を見つたり、海の環境について調べたり、日本の海をきれいにするための活動を通して、海の環境を守ることに関わっている人々の思いに気づき、仲間と協力して知恵を出し合い、問題の解決方法を考えるとともに、学んだことを自らの生活に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
海の自然や環境保全にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、海の自然や環境保全の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	海の自然や環境保全の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	海の自然や環境保全についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 2時間	○課題の見つけ方 ①単元の学習の見通しをもつ。 ②海の生き物や環境問題について知る。 (1時間) ③海辺の生物や環境美化、環境問題について話し合い、自分の課題を決める。 (1時間)	・写真や映像資料などを使い、児童が興味をもてるようにする。 ・環境美化、環境問題は幅広いので、家庭などでも調べさせる。 ・海浜学校とも関連付ける。当日の行き先や目標を知ることさらに関心を高め、課題設定に生かす。 ★自己の課題設定、情報の収集、整理分析、まとめ方などの力を発揮し、活用することができている。 【思考力・判断力・表現力】 (設定課題・学習態度)	情報活用の仕方 環境問題 課題の決め方 課題の書き方	→ 【新聞記事】(年間) → 【道徳】「青い海を取りもどせ」土砂による海の環境問題 (6月) → 【国語】「考えや意見をノートにまとめよう」目的や意図に応じて課題や書くことをまとめる (4月)
情報の収集 3時間	○情報活用の仕方 ④図書資料やインターネットの活用の仕方を確認する。 ⑤大洗の自然や環境について、図書資料やインターネットを活用して調べる。 (3時間)	・出典などを明らかにして記録させる。 ・図書室の本には数に限りがあるため、家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。 ・インターネットを使う際には、安全性や情報の選び方を確認する。 ★知識やその探求技能を身に着けることができている。 【知識および技能】(記録シート)	記録の仕方 調べた情報の活用	→ 【国語】「考えや意見をノートにまとめよう」整理して見やすく情報をまとめる (4月) → 【道徳】「情報について考えよう」インターネットの安全性・信用・トラブル (2月)
整理・め 分析 3時間	○情報整理の仕方 ○体験に基づいた考えの書き方 ⑥オリンピック・パラリンピックに来た観光客にも分かりやすく伝える方法を考える。 (1時間) ⑦調べたこと、実際に海に行っ て分かったことをまとめる。 (2時間)	・ポスターやパンフレットなど、具体物を見せて伝える方法を考えさせる。 ・調べたことををただ書き並べることにならないよう、必要な情報をしぼらせる。 ・グラフや写真など、視覚に訴えた資料づくりができるようにする。 ★情報を収集し、整理分析することができている 【思考力・判断力・表現力】 (記録シート・発表資料)	調べたことの伝え方 引用の仕方 出典の書き方 外国の方への紹介の仕方	← 【国語】「学校案内パンフレットを作ろう」学校の紹介の仕方 (5月) → 【国語】「引用して話そう」出典や引用の仕方と説得力 (4月) → 【外国語】 「Welcome to Japan」 (4月) 「I like my town」 (6月) 英語での紹介の仕方
まとめ ・す 表現 ひろめる 2時間	○効果的な伝え方 ⑧発表会をして伝え合う (1時間) ⑨体験や発表等を通して分かったことや考えたことを振り返る。 (1時間)	・友達の発表の良いところを見つけたり、発表内容を記録したりしながら、自己の理解も高める。 ・単元を通しての振り返りができるようにする。 ★探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができている。 【学びに向かう力・人間性】 (振り返りシート、発表内容、態度)	海の自然・環境 環境問題	→ 【理科】「生き物と環境」海の環境問題 (3月) → 【社会】「世界の未来と日本の役割」海の環境問題 (2月)

1 単元名 「ラグビー・オリパラブームをおこそう！Ⅱ～次の競技はこれ！パネルディスカッションをしよう～」(10時間扱い)

2 単元の目標

今後のオリンピックで行われるもしくはおこなってほしい競技について調べたり考えたりする活動を通して、スポーツの価値を理解したり、障がいのある方や海外の文化などの多様性に関する理解を深めたりするして、学んだことを、将来、国際社会や地域社会で活動していくための貴重な機会やかけがえのない財産にしようとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
オリンピック・パラリンピックの新競技にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、新競技の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	オリンピック・パラリンピックの新競技の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	オリンピック・パラリンピックの新競技についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 2時間	○学習の進め方 ①単元の学習の見通しをもつ。 ②パネルディスカッションについて知る。(1時間) ○課題設定の仕方 ③オリンピックやパラリンピックの取組を知る。 ④ディスカッションするオリンピック・パラリンピックの新競技に関する論題を知り、自分の課題を決める。 ⑤意見ごとにグループを作る。(1時間)	・写真や映像資料などを使い、児童が興味をもてるようにする。 ・オリンピック・パラリンピックについて事前に調べさせておく。 ・国際的な視点ももたせる。 ・国語の「未来の自動車～パネルディスカッションをしよう～」の学習を想起させる。 ★オリンピック・パラリンピックについて調べたり発表したりする活動に、主体的に粘り強く取り組んでいる。 【学びに向かう力・人間性等】(設定課題・学習態度)	情報活用の仕方 パネルディスカッションの仕方 話し合いの仕方	→【新聞記事】(年間) ←【国語】「未来の自動車～パネルディスカッションをしよう～」討論の仕方(10月) →【国語】「グループで話し合おう」目的や意図に応じて考えを一つにまとめる。(5月)
情報の収集 3時間	○情報活用の仕方 ⑥自分達のグループの主張を支える根拠を考えたり調べたりする。(3時間)	・出典などを明らかにして記録させる。 ・図書室の本には数に限りがあるため、家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。 ★オリンピック・パラリンピックについて調べたり発表したりする活動に、主体的に粘り強く取り組んでいる。 【学びに向かう力・人間性等】(調べた記録・学習態度)	記録の仕方 調べた情報の活用	→【国語】「考えや意見をノートにまとめよう」整理して見やすく情報をまとめる(4月) →【道徳】「情報について考えよう」インターネットの安全性・信用・トラブル(2月)
整理・分析 2時間	○情報整理の仕方 ⑦調べた情報の中で、自分達の主張を支える根拠となるものを整理する。(1時間) ○資料の作り方・発表の仕方 ⑧パネルディスカッションで使う資料等を作成する。 ⑨パネルディスカッションの練習をする。(1時間)	・グラフや写真など、視覚に訴えた資料づくりができるようにする。 ・パネルディスカッションの際に一人一人に役割があるよう準備をさせる。 ★課題の解決に向けて、必要な資料を集めたり分類・整理したりして、自分の考えを表現している。 【思考力・判断力・表現力】(調べた記録・発表資料)	調べたことの伝え方 引用の仕方 出典の書き方	←【国語】「未来の自動車～パネルディスカッションをしよう～」討論での主張の仕方(10月) ←【国語】「引用して話そう」出典や引用の仕方と説得力(4月)
まとめ・表現 3時間	○話し合いの仕方 ⑩パネルディスカッションをする。(2時間) ○振り返りの仕方 ⑪パネルディスカッションを通して分かったことや考えたことを振り返る。(1時間)	・友達の意見を尊重し記録をしながら、自分の考えを再構築する。 ・グループで学習を進めてきたが、最終的には一人一人が自分の考えをもてるようにする。 ★オリンピック・パラリンピックの取組の工夫や人々の思いを知り、それらについて自分なりに概念を構築している。 【知識および技能】(振り返りの記録、発表内容、態度)	パネルディスカッションの仕方 ☆課題の設定 ・討論の論題で、「どうすれば外国の方にたくさん来てもらえるか」のように、国際的な視点で話し合わせると外国語とも関連させられる。	←【国語】「未来の自動車～パネルディスカッションをしよう～」討論の仕方(10月) 討論の論題の例 ・どんな種目をオリンピック競技にするか ・いろいろな国の人が親睦を深める工夫はどんなものがあるか …など

1 単元名 「ラグビー・オリパラブームをおこそう！Ⅲ ～鎌倉・箱根の魅力を伝えよう～」(14時間扱い)

2 単元の目標

鎌倉・箱根について、調べたり役所の人や利用したりしている人に取材したりする活動を通して、鎌倉・箱根の名所やそれに関わる人々の思いに気づき、日本人として自分たちにできることを考えるとともに、学んだことを身近な人に伝えたり自らの生活に生かそうとしたりする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
鎌倉・箱根の歴史や地理にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、鎌倉・箱根の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	鎌倉・箱根の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	鎌倉・箱根についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 3時間	○課題の見つけ方 ①単元の学習の見通しをもつ。(1時間) ②鎌倉・箱根について調べる(歴史、地理、神社仏閣)(1時間) ③修学旅行で自由行動の場所を決める。(1時間)	・写真や映像資料などを使い、児童が興味をもてるようにする。 ・社会科の授業とも関連付ける。歴史等の興味を持たせ、自由行動の場所に決めに生かす。 ★自己の課題設定、情報の収集、整理分析、まとめ方などの力を発揮し、活用することができている。 【思考力・判断力・表現力】(設定課題・学習態度)	歴史・地理 課題の決め方 課題の書き方	→【社会】「武士の世の中へ」頼朝が東国を治める(6月) →【国語】「考えや意見をノートにまとめよう」目的や意図に応じて課題や書くことをまとめる(4月)
情報の収集 4時間	○情報の活用の仕方 ④図書資料やインターネットの活用の仕方を確認する。(2時間) ⑤鎌倉・箱根の自由行動の計画をたてる。(2時間)	・出典などを明らかにして記録させる。 ・インターネットを使う際には、安全性や情報の選び方を確認する。 ・交通費、拝観料といった金銭がかかる部分に注意させる。 ・時間を考えながら、無理のない行動計画をたてさせる。 ★知識やその探求技能を身に着けることができている。 【知識および技能】(記録シート)	記録の仕方 調べた情報の活用	→【国語】「考えや意見をノートにまとめよう」目的や意図に応じて課題や書くことをまとめる(4月) →【道徳】「情報について考えよう」インターネットの安全性・信用・トラブル(2月)
整理・分析 5時間	○情報整理の仕方 ○体験に基づいた考えの書き方 ⑥鎌倉・箱根の魅力をオリンピック・パラリンピックにきた観光客にも分かりやすく伝える方法を考える。(2時間) ⑦実際に自由行動した、鎌倉・箱根に行ってわかったことをまとめる。(3時間)	・ポスターやパンフレットなど、具体物を見せて伝える方法を考えさせる。 ・調べたことををただ書き並べることにならないよう、必要な情報をしぼらせる。 ・グラフや写真など、視覚に訴えた資料づくりができるようにする ★情報を収集し、整理分析することができている 【思考力・判断力・表現力】(記録シート・発表資料)	調べたことの伝え方 引用の仕方 出典の書き方 外国の方への紹介の仕方	→【国語】「学校案内パンフレットを作ろう」学校の紹介の仕方(5月) →【国語】「引用して話そう」出典や引用の仕方と説得力(4月) →【外国語】「Welcome to Japan」(4月) 「I like my town」(6月) 英語での紹介の仕方
まとめ・表現 ひろめる 2時間	○効果的な伝え方 ⑧自由行動の発表をして伝え合う(1時間) ⑨体験したことや発表等を通して分かったことや考えたことを振り返る。(1時間)	・考えた自由行動の計画を発表させる。 ・発表から他の班のよいところを見つけたり発表内容を記録したりしながら自己の理解を高める。 ★探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができています。 【学びに向かう力・人間性】(振り返りシート、発表内容、態度)	発表の仕方	→【国語】「引用して話そう」出典や引用の仕方と説得力(4月) →【社会】「武士の世の中へ」頼朝が東国を治める(6月)

1 単元名 「12歳の主張～伝えよう、わたしの思い～」(5時間扱い)

2 単元の目標

自分自身の成長をふり返ったり、家族にインタビューしたりする活動を通して、身近な人に関わるよさや自分の成長に気付くとともに、支えてくれた人々の思いに気づき、「感謝の気持ち」や「自分にできることは何か」の視点をもって学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
自分自身にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、自己の特徴やよさが分かり、それらが多くの人々によって支えられていることを理解している。	自分自身の成長の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	自分自身の成長についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の 設定 1時間	○課題の見つけ方 ①単元の学習の見通しをもつ。 ②6年間の思い出を想起して発表し合う。 (1時間)	・写真や映像資料などを使い、小学校6年間の思い出を振り返る。 ・学活「卒業文集の内容を決めよう」とも関連させ、卒業や将来への見通しをもたせる。 ★自分の成長を振り返り、今後の目標や課題を見出す学習に主体的・協働的に取り組んでいる。 【学びに向かう力・人間性等】 (設定課題・学習態度)	卒業文集	→【学活】「卒業文集の内容を決めよう」卒業文集関係(後期) ※単元を通して関連させる
情報の 収集 1時間	○根拠のある文章の書き方 ③6年間の思い出を想起して、数年後の自分に伝えたいことを考えて書く。 (1時間) テーマの例 ・自分の夢 ・6年間の思い出 ・家族と私	・文章の具体例を提示し、文章の構造を理解させる。 ・「根拠を明らかにする」ために、自分が学んだことや経験をもとに考えさせる。 ・発表で使う資料を作成させてもよい。 ★自分の成長を振り返る中で今後の目標や課題を見出し、それらを根拠を明らかにしてまとめ・表現している。 【思考力、判断力、表現力】 (ワークシート)	自分の考えの書き方 将来について	→【国語】「考えや意見をノートにまとめよう」目的や意図に応じて課題や書くことをまとめる(4月) →【外国語】「What do you want to be?」将来の夢(10・3月)
整理・ 分析 2時間	○発表の仕方 ○相手の意図をつかむ聞き方 ④同じようなテーマの児童でグループを作り、作文をお互いに読み合う。 (1時間) ⑤学級、または学年発表会をする。 (1時間)	・発表を聞くときは、友達の考えの中で自分にも生かせそうなことを見つけさせる。 ★自分の成長を振り返り、今後の目標や課題を見出す学習に主体的・協働的に取り組んでいる。 【学びに向かう力・人間性等】 (学習態度・発表会の記録)	話し合いの仕方	→【国語】「グループで話し合おう」話し合いの仕方(5月)
まとめ ・ 表現 ひろめる 1時間	○自分の考えのまとめ方 ⑥「自分を見つめて新たな出発」の提案をし、自分のこれからの希望や取組を書き、発表する。 (1時間)	・友達の発表を聞いて考えが変わった部分を考えさせる。 ・今後に向けて自分が取り組んでいくことを具体的に書かせる。 ・今回の学習が卒業文集等にどう生かせるかも話し合う。 ★自分を振り返り今後を見通す学習過程の中で、課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、自己理解を深めている。 【知識および技能】 (ワークシート・発表)	中学校生活の見通し 中学生への見通し 卒業に向けて 中学生への見通し	→【外国語】「Junior High School Life」中学校生活(10・3月) ←【国語】「中学生になるみなさんへ」卒業後の見通し(3月) →【道徳】「卒業に向けて」自立・自由と責任(2月) →【家庭】「成長したわたしたち、中学生に向かって」見通し(2～3月)

1 単元名 「ラグビー・オリパラブームをおこそう！Ⅳ ～世界に日本をアピールしよう～」(9時間扱い)

2 単元の目標

日本や世界の国々のよさを見付けたり調べたりして、それぞれの国の特徴やよさや比較する活動を通して、日本とそれらの国々の人々の思いに気づき、仲間と協力して知恵を出し合い、問題の解決方法を考えるとともに、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
日本や世界の国々にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、国々の特徴やよさが分かり、それらが多くの人々によって支えられていることを理解している。	日本や世界の国々にかかわる事柄の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	日本や世界の国々についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法) 	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 1時間	○課題の見つけ方 ①単元の学習の見通しをもつ。 日本とつながり深い国を探す (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や映像を使って興味をもった国を選ぶようにする。 ・埼玉県や熊谷市と姉妹都市を結んでいる国にも注目させる。 ★自己の課題設定、情報の収集、整理分析、まとめ方などの力を発揮し、活用することができる。 【思考力・判断力・表現力】 (設定課題・学習態度)	国や郷土を愛する	→【外国語】「世界の様々な言語とあいさつ」 (4月)
情報の収集 3時間	○情報の活用の仕方 ②図書資料やインターネットの活用の仕方を確認する。 ③調べたい国を決めて、その国の文化や歴史、人々の生活の様子をについて調べる (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・出典などを明らかにして記録させる。 ・インターネットを使う際には、安全性や情報の選び方を確認する。 ・調べる国について詳しい人や、出身者にインタビューができるようであれば行う。 ★知識やその探求技能を身に着けることができる。 【知識および技能】(記録シート)	記録の仕方	→【国語】「考えや意見をノートにまとめよう」目的や意図に応じて課題や書くことをまとめる (4月)
整理・分析 3時間	○情報整理の仕方 ○体験に基づいた考えの書き方 ④同じ国を選んだ児童でグループを作り、調べたことや考えたことを発表し合い、まとめていく (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターやパンフレットなど、具体物を見せて伝える方法を考えさせる。 ・調べたことををただ書き並べることにならないよう、必要な情報をしぼらせる。 ・グラフや写真など、視覚に訴えた資料づくりができるようにする ★情報を収集し、整理分析することができる 【思考力・判断力・表現力】 (記録シート・発表資料)	調べたことの伝え方	→【国語】「学校案内パンフレットを作ろう」学校の紹介の仕方 (5月)
まとめ・表現 2時間	○効果的な伝え方 ⑤他のグループと交流を行い、他国の特徴に気づき知識を深める (1時間) ⑥体験したことや発表等を通して分かったことや考えたことを振り返る。 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表から他の班のよいところを見つけたり発表内容を記録したりしながら自己の理解を高める。 ★探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができる。 【学びに向かう力・人間性】 (振り返りシート、発表内容、態度)	発表の仕方	→【国語】「引用して話そう」出典や引用の仕方と説得力 (4月)
			考えをまとめる活動	→【社会】「日本とつながりの深い国々」 (2月)